

スクールカウンセリングの発展

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

理事長 石隈 利紀



本協議会は、2009年（平成21年）、スクールカウンセリングの充実を目的として、スクールカウンセリングの資格に関わる7団体で、結成されました。

スクールカウンセリングは、すべての子どもの学習面、心理・社会面、進路面、健康面における発達課題への取り組みを援助する活動です。

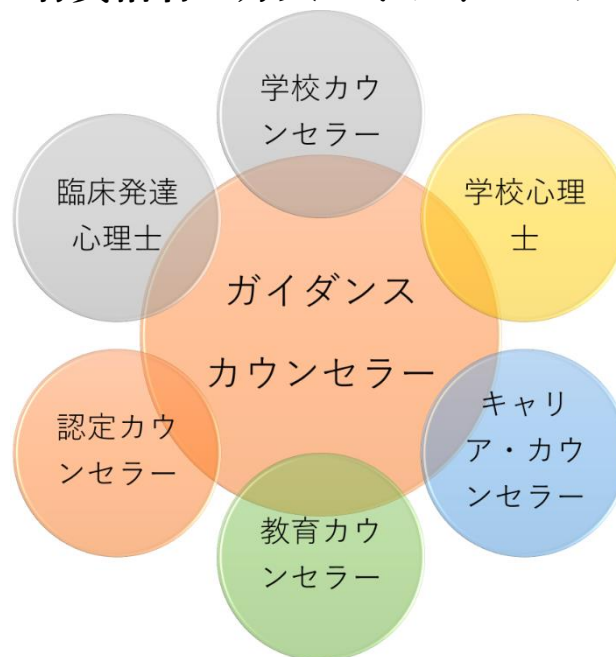
スクールカウンセリングに関わるみなさまと協力して、「チーム学校」を実現しながら子どもたちの学校生活の質の維持向上を図ります。

以下に本協議会のこれまでの実績を記載します。

【実績】

- シンポジウム・研修会(2019年)
 - ・東京公開シンポジウム「いじめ防止対策推進法を考慮する一予防的視点の活用」2019年6月、跡見学園女子大学
 - ・実践力強化研修「教室で行う特別支援」「学級集団の育成」「SNSカウンセリング」「WISC-IV」2019年6月、跡見学園女子大学
 - ・関西公開シンポジウム「教育機会確保法を踏まえた不登校対応ーチーム学校として」2019年8月、大手前大学
- 委員（当協議会役員等の出席）
 - ・文部科学省「いじめ防止基本方針策定協議会」協力者、2015年、國分康孝
 - ・文部科学省「教育相談等に関する調査研究協力者会議」委員、加勇田修士、2015-2016年
 - ・厚生労働省・文部科学省「公認心理師カリキュラム等検討会」委員、石隈利紀、2016-2017年
 - ・中央教育審議会初等中等部会委員、八並光俊 2017年～
- ヒアリング
 - ・文部科学省「教育相談等に関する調査研究協力者会議」関係団体からのヒアリングとして、2015年
 - ・文部科学省、ガイダンスカウンセラーによるスクールカウンセラーの実践視察、2017年

有資格者2万人のネットワーク



【構成団体及び資格】

- 一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会
 - ・「ガイダンスカウンセラー」約3,500名
- 一般社団法人日本学校教育相談学会
 - ・「学校カウンセラー」約770名
- 一般社団法人学校心理士認定運営機構
 - ・「学校心理士」約4,200名
- 日本キャリア教育学会
 - ・「キャリア・カウンセラー」約150名
- NPO法人日本教育カウンセラー協会
 - ・「教育カウンセラー」約10,000名
- 一般社団法人日本カウンセリング学会
 - ・「認定カウンセラー」約1,000名
- 臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会
 - ・「臨床発達心理士」約3,500名

スクールカウンセリングの 実践と研究を促進します

スクールカウンセリングとは、保育園・幼稚園・小中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・大学及び高等専門学校等において、子どもたちの学習、進路、人格・社会、健康の面における発達課題への取り組みを援助する専門的な活動である。



スクールカウンセリングの4領域

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会
〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15 アトラスタワー3F
TEL:03-3941-8049 FAX:03-3941-8116 info@jsca.guide

ホームページはこちらから
<http://jsca.guide/>



【概要】

○設立

2009年5月25日（一般社団法人としては2015年4月1日）

○役員

理事長：石隈利紀

副理事長：栗原慎二、河野義章、下村英雄、河村茂雄、
飯田俊穂、黒田美保

理事：会沢信彦、新井邦二郎、新井雅、東敦子、
伊澤成男、井ノ山正文、池場望、加勇田修士、
荻間澤勇人、金谷京子、糟谷恭子、熊谷圭二郎、
中村道子、西山久子、田邊昭雄、田村節子、
藤川章、三村隆男、八並光俊、渡辺芳生、東則孝

監事：岡田弘、根本節子

事務局長：東則孝

○活動目的

子どもたちが発達課題に取り組み、成長することを援助するスクールカウンセリングを有効に機能させるチーム学校体制のあり方について検討し提言を行うとともに、スクールカウンセリングを担う諸資格の交流を促進するほか、スクールカウンセリングに関する「ガイダンスカウンセラー」の資格を認定し、スクールカウンセリングの学校教育への普及定着をはかる。

○活動目標

- ① すべての教員および教育相談コーディネーターのスクールカウンセリングの資質を向上する
- ② スクールカウンセリングに関する資格を有するスクールカウンセラーや教育分野で働く公認心理師等への研修機会を提供する
- ③ スクールカウンセリングに関する制度の改善・改正を提案する

【文部科学省への要請事項】

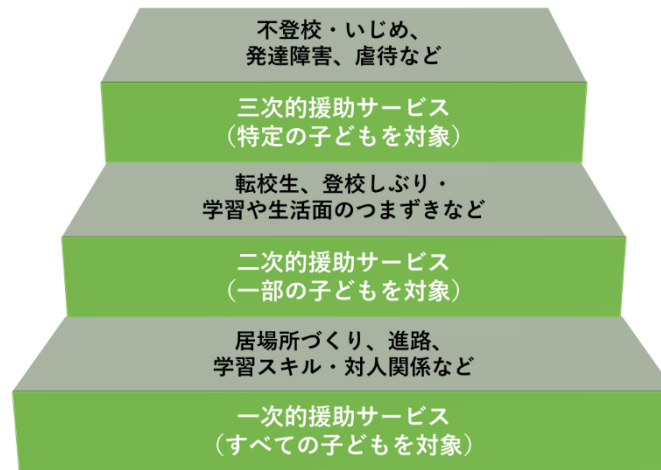
- ・スクールカウンセラーの要件としてガイダンスカウンセラー等を明記する
- ・スクールカウンセリングの資格を有する教員を教育相談コーディネーターとして活用する など

【子どもたちへの援助の特色】

スクールカウンセラーは、すべての子どものための「学校のカウンセラー」です。さらに苦戦する一部の子どもや特定の子どもの援助を行います。

下図に三段階の支援を示しました。すべての子どもを対象に、その発達課題の達成を支援する活動を一次的援助サービスと位置づけます。次に苦戦している子どもや（転校生など）苦戦するかもしれない子どもを対象に、その子どもの援助ニーズに応じる活動が二次的援助サービスとなります。さらに不登校やいじめ、発達障害などで特別な教育ニーズのある子どもに対する支援活動を三次的援助サービスとしています。

スクールカウンセラーは、リーダーあるいはコーディネーターとしてこれらの三段階の援助サービスを行います。さらに家庭や地域と連携して子どもたちの援助にあたりま



スクールカウンセリングの援助の特色

(石隈利紀1999「学校心理学」誠信書房の図を元に作成)

【スクールカウンセリングで提供するサービス】

1. アセスメント

子ども・学級・学校の状況の情報を収集・分析し、援助計画に関する資料を作成する。

2. 集団対応

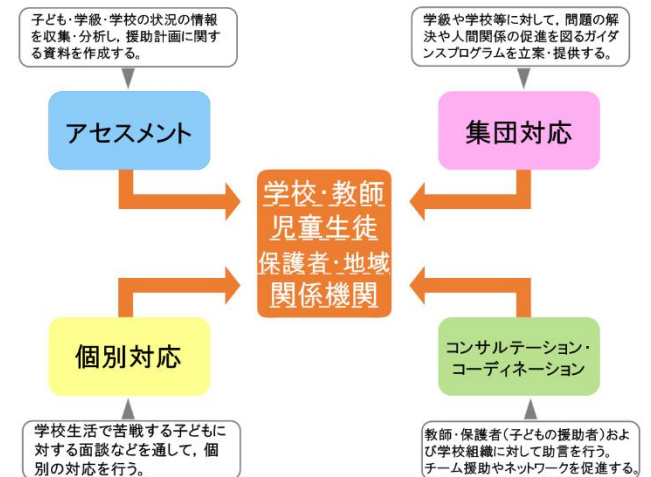
学級や学校等に対して、問題の解決や人間関係の促進を図るガイダンスプログラムを立案・提供する。

3. 個別対応

学校生活で苦戦する子どもに対する面談などを通して、個別の対応を行う。

4. コンサルテーション・コーディネーション

教師・保護者（子どもの援助者）および学校組織に対して助言を行う。チーム援助やネットワークを促進する。



スクールカウンセリングで提供するサービス